

事務事業名	教育環境管理事業		所管部課	教育委員会	教育総務課	
事業目的	学校や保護者、地域住民が連携し、校内外における子どもたちの安全を確保し、安心して学習できる環境を整備するためスクールガード事業を支援する。また、行政の枠を超えた「下野市通学路安全推進会議」を開催し、学校からの要望に基づく整備を推進する。 学校における理科薬品の廃棄を行い、良好な教育環境の整備を図る。					
事業概要	スクールガード事業 青色パトロール実施 下野市通学路安全推進会議 学校設置消火器の更新 理科実験使用の薬品廃棄					
総合計画での位置付け	2 施策 1	文化を育み、心豊かな人を育て未来につなぐまちづくり 将来を担う人づくり	重点事業区分 暮らしいきいき	類型区分	I (積極的推進)	
事業区分	新規・継続	継続	事業の種類	ソフト事業	市裁量の有無	裁量あり
根拠法令等	学校保健安全法、下野市安全安心なまちづくり条例					
補助団体	—					
年度別	事業計画	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	事業費	2,209千円	4,425千円	4,322千円	4,682千円	4,603千円
事業内容	対象年度(令和2)	報償費 200千円(スクールガードリーダー謝礼) 需用費 150千円(防犯用品購入) 手数料 2,479千円(粗大ゴミ・理科薬品処分等) 保険料 193千円(スクールガード保険) 使用料 308千円(学校テレビ受信料) 備品購入1,352千円(消火器・情報機器リース品買取)				
	財源	国県支出金 156千円	地方債・その他 0千円	一般財源 4,526千円		
その他(過年度実績・特筆すべき点等)	○スクールガード事業 スクールガードリーダー謝礼、新1年生のホイッスル購入等(年1回) スクールガードボランティアの保険加入 ○青色パトロール実施 青色パトロール講習会(年1回)及び巡回パトロールの実施(年1回以上) ○下野市通学路安全推進会議 学校から要望のあった通学路における安全対策について、関係機関と検討する。(年2回開催) ○学校設置消火器の更新 学校に設置している消火器及び屋内消火栓ホースで耐用年数が超えたものの交換(年1回) ○理科薬品処分 理科実験で使用済の薬品の処分(年1回 2~5校程度分) ○その他 ・学校で出たゴミの処分(毎月)、粗大ゴミの処分(年1回) ・学校情報機器でリース満了となったものの買取り(情報機器のリース切替時) ・市内小中学校のテレビ受信料支払					

事業推進方針判断に際しての3つの視点					
必要性	A	○	全て	要件(3項目)	
	B		1以上	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化や市民ニーズ等に適合する <input checked="" type="checkbox"/> 公共関与の妥当性がある <input checked="" type="checkbox"/> 第二次下野市総合計画の施策体系と事業目的に整合性がある	
	C		なし	市裁量がない事業(⇒A評価とする)	
現総合計画前期計画では、基本施策2-1「将来を担う人づくり」、施策1「地域ぐるみの教育活動の推進」に位置付けられているほか、しもつけ重点プロジェクトの取組事業となっています。 近年、全国的に、子どもたちが様々な犯罪に巻き込まれる事件が増加しており、学校内はもちろんのこと、子どもの通学路となる地域にも目を配り、安全を確保することが強く求められています。本事業は、登下校の子どもたちの安全を確保し、また、安心して学習できる環境を整備していく取組であり、必要性は高いと考えます。 以上のことから、必要性をAとしました。					
有効性	A	○	全て	要件(3項目)	
	B		1以上	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与する <input checked="" type="checkbox"/> 持続可能なまちづくりに寄与し、地方創生の推進等につながる <input checked="" type="checkbox"/> 総合計画の上位施策の目標達成に貢献し、意図する結果につながる	
	C		なし	市裁量がない事業(⇒A評価とする)	
子どもの安全を守るには、学校だけでは限界があることから、本事業では、地域ぐるみで守る体制を整えています。スクールガード事業は、市民との協働で実施し、下野市通学路安全推進会議では、学校、警察、道路管理者等と連携を図っています。そのため、本事業は、子どもと保護者に安心感を持って学校生活をしてもらうための支援の一つとして、有効性が高いと思われます。 以上のことから、有効性をAとしました。					
効率性	A		3以上	ソフト事業(要件:6項目)	ハード事業(要件:3項目)
	B	○	1以上	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の質を維持しつつ、事業費の削減や取組方法を見直す <input checked="" type="checkbox"/> 同種・同目的事業との統合や簡略化を実施する <input checked="" type="checkbox"/> 民間委託を実施する <input checked="" type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正であり適正である	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる方法を選択している <input checked="" type="checkbox"/> 事業目的に見合う最適な事業規模である <input checked="" type="checkbox"/> 他事業との重複がない
	C		なし	<input checked="" type="checkbox"/> 市民(団体)協働や連携により事業を実施する <input checked="" type="checkbox"/> 管理業務等において、現在の取組手法から、さらに効率性を図ることは困難である	
スクールガードについて、人的、時間的制約があることから、学校や行政だけでは対応が不十分なところ、ボランティアを随時募集し、地域住民等との協働により実施しており、人員の確保と経費削減が図られています。また、実施に際しては、各学区単位で組織し、より細やかな見守りを行っています。 以上のことから、効率性をBとしました。					

総合評価	○	継続実施
		見直し実施
		廃止